

# 漁連だより

2025

12

No.360

令和7年度  
全国青年漁業者交流会 長崎県大会

育てよう、人と魚と碧い海



令和7年度第28回全国青年漁業者交流会長崎県大会 受賞者の様子

## CONTENTS/目次

(株)オークワ 九州・沖縄フェアを開催……………P1  
令和7年度「魚類養殖の明日を考える若手検討会 視察・意見交換会」の開催 ……P2  
「貝藻くん」を活用したナマコ放流技術とJFシェルナース新機種のご紹介 ……P3  
第13回長崎発「旨い本マグロまつり」品評会……………P5  
第63回長崎県水産加工振興祭 with ふるさと物産まつり……………P6

2025年度漁協系統功労者表彰受章者決定……………P7  
令和7年度 第28回全国青年漁業者交流会長崎県大会及び第42回ソフトボール大会を開催…P7  
第3回長崎市PTAスマイルみらいふえすた2025が開催……………P9  
募金ありがとうございます……………P9  
有明海諫早湾における垂下式マガキ養殖の食害対策について… P10

# (株)オークワ 九州・沖縄フェアを開催

事業推進部 営業課

さる11月22日から23日において、(株)オークワにて九州・沖縄フェアが開催され県内各地の旬の鮮魚、加工品を中心に販売しました。

(株)オークワは和歌山県を中心に、東海地区から関西地区にかけて約150店舗を展開しているチェーンストアです。「九州・沖縄フェア」は毎年恒例のイベントとして、夏と冬の年2回開催されており、県内各地の鮮魚(天然魚・養殖魚)の他、各種加工品を販売しております。今回のフェアでは、水揚げが厳しい状況でありましたが、各事業所の協力もあり、無事フェアを開催する事が出来ました。

鮮魚については「マアジ」「マサバ」「ハマチ」等の主要魚種をはじめ、多種多様な色とりどりの魚を陳列し丸体、切身の他、刺身や寿司等、様々な形態で販売し売上は大変好調でした。

養殖魚では、フェアでお馴染みの深江町漁業協同組合養殖車エビに加え、今回初の試みとして、長崎県の「押し魚」プロジェクトの第1号として認定された「新上五島町の養殖クロマグロ」の紹介を兼ねて、柵や寿司等を提供しました。



鮮魚売り場の様子

また、主要店舗では、マグロの解体ショーや試食イベントを実施し、来店者からは「びっくりするほどおいしかった」といった嬉しい声が寄せられました。

冷凍加工品については、厳しい水揚げ状況を想定した商品の安定供給と店舗側の業務負担の軽減を目的に、前回7月に開催したフェアに引き続き、アルコール凍結品による「タッチウオ」「アカカマス」



養殖クロマグロ（押し魚）の売り場の様子

「サワラ」の3種のフィレを寿司ネタ用として提供しました。

今後の取組みとしては、鮮魚をはじめ加工品においても消費者および店舗側のニーズに沿った商品提案を行い、長崎県産水産物の強みを活かした魅力あるフェアの開催を通じて、さらなる販売強化を図って参ります。

# 令和7年度「魚類養殖の明日を考える 若手検討会 視察・意見交換会」の開催

長崎県かん水魚類養殖協議会

さる11月11日、長崎県五島市にある水産研究・教育機構養殖技術研究所五島庁舎において、令和7年度「魚類養殖の明日を考える若手検討会」が開催され、研究施設の現場視察のほか、若手検討委員と研究機構との意見交換会が行われました。

本検討会は、全国各地の養殖現場で活躍する若手生産者が、日々感じている課題や将来への想いを共有し、魚類養殖業の持続的な発展につなげることを目的に、全国海水養魚協会の活動の一環として実施されています。

当日は、長崎県（長崎市たちばな漁協所属・牧島氏）をはじめ、熊本県、鹿児島県、三重県、愛媛県の若手委員が出席しました。また、水産研究・教育機構、水産庁（栽培養殖課）、全国海水養魚協会、長崎県かん水事務局も参加しました。

現場視察では、五島庁舎の視察見学に続き、ブリ養殖業の成長産業化に向けた研究開発の取り組みについて説明が行われました。当庁舎は昭和55年5月に着工し、翌年に竣工され、「ブリ・シマアジ・ヒラマサ・クエ・イサキ・

アオリイカ」の種苗放流を開始しました。平成12年4月からはブリに関する養殖業振興支援技術開発事業が開始され、現在に至るまで研究が継続されています。

ブリ養殖業の成長産業化に向けた主な研究課題として、①ブリ受精卵および人工種苗の安定供給と技術指導、②高成長系統の選抜育種と利用による優良家系の作出・管理、③赤潮による斃死被害を軽減するための給餌方法の研究、の3点が示されました。

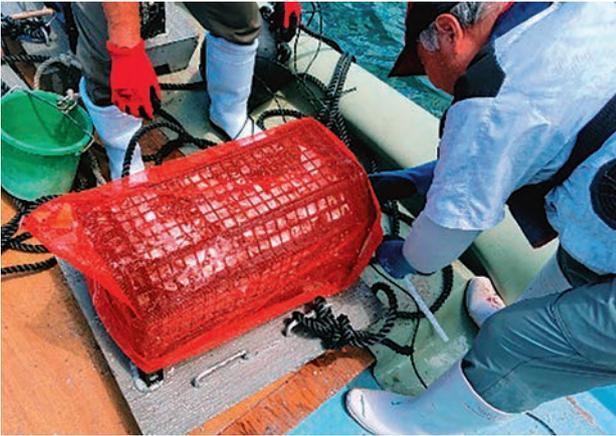
特に高成長系統の育種については、令和元年度から取り組みが開始され、現在は第三世代に移行しています。現時点での成長率向上は約3%程度にとどまっていますが、令和10年度以降の本格運用を見据え、今後も運用試験を重ねていくことが必要であるとされています。また、全国海水養魚協会を通じてのコンソーシアム形式での運用試験も計画されており、参加者から提供される飼育データは、今後の育種改良に活用されます。運用試験は全海水の会員であり、既にブリ養殖を営んでいる方を対象とし、令和8年3月に第1回、令和9年3月に第2回を開催する予定となっています。



現地視察の様子

# 「貝藻くん」を活用したナマコ放流技術と JFシェルナース新機種のご紹介

購販部 購買課



種苗を放流した貝藻くんにネットをかぶせる

【小型貝殻ブロック「貝藻くん」が稚ナマコの放流受け皿として効果を発揮！】  
長崎県をはじめ全国的に、マナマコ資源の維持・増大に向けた取り組みが積極的に進められています。その中で、小型貝殻ブロック「貝藻くん」が、放流した稚ナマコの保護・育成を促す保育施設として優れた効果を発揮することが確認されました。

【約2カ月で稚ナマコの成長と定着を確認！】  
2025年7月24日、諫早市海域（水深4〜5m）において、貝藻くんの設



ロープを使って貝藻くん投入

置と稚ナマコの放流が行われました。船上で貝藻くん1基あたりにナマコ種苗（平均体長10mm）2,000個程度を収容して、ロープを使って海底まで降ろし設置しました。この貝藻くんには、設置作業時に種苗の散失を防止するためのネットを貝殻部に被せ、1週間後にネットを外しました。

放流2カ月後の9月30日に、諫早市や漁業者の方々と貝藻くんの稚ナマコの滞留状況を調べました。小型の稚ナマコは、海中では見つけにくく状況把握が困難ですが、貝藻くんは引き上げて貝殻部を開放調査できるため、平均



貝藻くんから出現した稚ナマコ  
（計1111個体、体長8〜37mm）

体長18mmに成長した稚ナマコが最大1111個体も確認できました。

【貝藻くんを活用するメリット】  
貝藻くん内部には、貝殻の重なりによって小空間が数多く創られ、稚ナマコの隠れ場として機能します。また、稚ナマコの餌となる珪藻が多く付着することから餌料供給機能も有しています。ナマコ種苗を船上から直接放流すると、フワフワと水中を漂い、潮流で放流したい場所から離れてしまう可能性や、着底しても流れやうねりがある場合、転がってしまったり体を固定できずに弱ってしまう恐れもあります。そ



シェルナース 15.0 型 (幅・奥行 11.0m、高さ 15.4m)

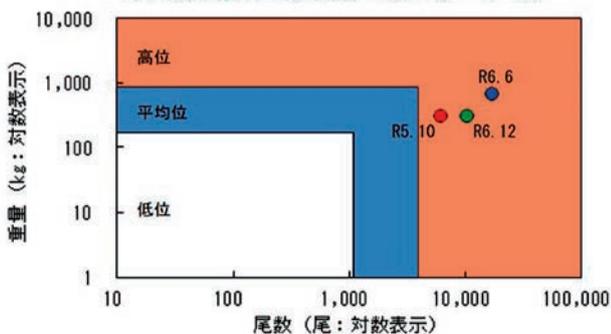


マダイ



漁獲された魚類 (マハタ、カンパチ等)

全調査で高位水準!!



魚礁蛸集量の平均水準との比較 (対馬地区)

※ (一社)水産土木建設技術センター長崎支所が調査を実施。

ここで、ネットを被せた貝藻くんを放流受け皿として利用することで、確実に放流したい漁場の海底へ種苗を導くとともに、足場がないために波などで揺り動かされることによる種苗へのダメージを防ぐことができます。貝藻くんに棲みついた稚ナマコは子どもの時期の好ましい隠れ場・餌場としてカキ殻の住まいを利用しながら成長していくのではないかと考えています。貝藻くんを使用したナマコなどの種苗放流技術につきましては、購買課までお問い合わせ下さい。

【礁高15mのJFシェルナースのご紹介】

県営事業の漁場造成において、これまで実績を重ねてきた「シェルナース6・0型」に加え、さらに大型の「シェルナース15・0型」もご提案できるようになりました。近年、水深100m程度の深場での漁場造成を検討されている漁業者の方々から、「深場では礁高が高い魚礁に小魚が多く集まりそうだ。シェルナースには、礁高10mを越える機種は提案できないか？」とのご意見が増えてきまし

た。これにお応えするため、従来の6・0型をベースに礁高を高めた15・0型を開発しました。15・0型の規模は、礁高15m、1、251空mであり、6・0型よりも礁高では約2倍、空容積では3倍以上です。本礁には6・0型と同様に直径15cm、長さ1mの貝殻基質を計630本も備えています。貝殻基質は水深100mを越える深い海域においてもエビ類、カニ類などの小型動物の生息が確認されているので、隠れ場効果、餌場効果に大変優れています。

本礁は、対馬市の市営事業では先に採用され、島内の水深74mの砂底に設置されています。シェルナース15・0型の調査を実施した結果、ヒラマサやカンパチ、マジ、ハタ類、マダイ、イサキ等の有用種が季節により集まっており、高い効果を発揮していることが実証されました。深場・沖合漁場での生産力を高め、水産資源の持続的な利用と豊かな海づくりのためにも、「シェルナース15・0型」のご活用をぜひご検討ください。

# 第13回長崎発「旨い本マグロまつり」品評会

長崎県まぐろ養殖協議会



専門審査員による審査の様子



一般審査員による審査の様子

当品評会は、本県養殖マグロの品質向上と養殖業者の生産意欲向上を目的に、長崎発「旨い本マグロまつり」の一環として開催し、今回で13回目を迎えました。本年度は、県下各地区よりマグロ養殖業者7社により品評会を行いました。

さる12月13日、長崎サンプリエールにて、第13回長崎発「旨い本マグロまつり」品評会を開催しました。また、同日おくんち広場では第63回長崎県水産加工振興祭withふるさと物産まつりが開催され、ステージイベントとしてマグロの解体ショーを行いました。

## ○今年の出品業者

- (株)ツナドリーム五島(下五島地区)
  - (株)徳丸(上五島地区)
  - (株)橋口水産(上五島地区)
  - (株)長崎ファーム(県北地区)
  - (株)ニッスイまぐろ(舌岐地区)
  - 東洋冷蔵フード&ロジステイクス(株)(対馬地区)
  - (株)西山水産(対馬地区)
- 専門審査員13名(学識経験者・県内、県外の流通関係者)と、一般審査員18名(マスコミ関係者・長崎大学、長崎県立長崎鶴洋高等学校の生徒等)の合計31名でブロック(腹側)の色調及び脂ののりを見定める外観審査に加え、試食用の刺身(背側)を食し、味・食感等による試食審査の2種類で行いました。

品評会会場では、各テーブルに並べられた出品魚を審査員が真剣な眼差しで観察し、厳正な審査の結果、今年の最優秀賞・優秀賞は次の通りとなりました。



マグロの解体ショーの様子

品評会同日の12月13日に当祭事のステージイベントとして養殖マグロの解体ショーを行いました。解体ショーでは、双日ツナファーム鷹島(株)の永田氏、本協

## ○第63回長崎県水産加工振興祭withふるさと物産まつり

審査終了後、農林水産省 宮原顧問より講評が行われ「毎年審査が難しくなっており、非常に僅差だった。」と述べられました。

- 最優秀賞 (株)橋口水産
- 優秀賞 (株)徳丸

議会の大西企画部会長など生産者代表による巧みな包丁さばきと軽快なトークで会場は盛り上がりました。時よりマグロにまつわるクイズを行い、正解者15名に希少な頬肉等をプレゼントし、正解した来場者は満面の笑みで受け取っていました。

また、解体ショー終了後には本協議会のブースを設けマグロの柵を販売しました。販売ブースでは今か今かと心待ちにするお客さんで長蛇の列ができていました。売り切れ次第終了のマグロの販売は一人5パックまでの販売とし、瞬間間に売れていきましました。あまりの売れ行きで販売途中、一人3パックまでに変更するほど人気でした。



販売ブースの様子

本協議会としては、品評会を通して更なる品質向上を推進するとともに、県内外の消費者へPRを行って参ります。当祭事は年に1回12月に開催されておりますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

## 第63回長崎県水産加工振興祭withふるさと物産まつり

購販部 製品販売課

さる12月12日から14日にかけて長崎市元船町にある「おくんち広場」にて、第63回長崎県水産加工振興祭が開催されました。

長崎県水産加工振興祭は、国の表彰行事「農林水産祭」への参加行事として、長崎県が主催し県内水産関係団体が協賛のもと、長崎市では昭和38年から開催されています。県内水産加工品の品評会や展示即売会を通じて、品質向上と製造技術の高度化を図るとともに、県民の水産加工品に対する理解を深め、本県水産加工業の振興に寄与することを目的に開催されています。

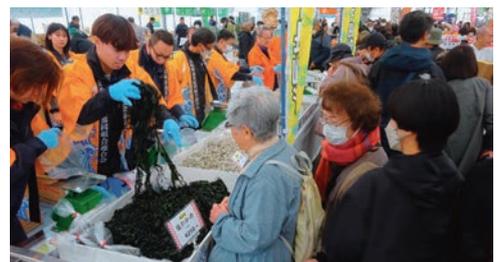
3日間にわたって行われた振興祭は、様々な水産製品の販売に加え、「マグロの解体ショー」や「チャリティー模擬セリ」、「子ども向けワークショップイベント」などのステージイベントが実施されました。また、昨年に引き続き、ふるさと物産まつりと同時開催されたことから、県内42社の出店業者が集まり、会場は多くの来場者で賑わいました。

本会ブースでは、煮干や焼きあごなどの乾物商品、塩蔵わかめの量り売りをはじめ、冷凍商品のブリカマや塩サ

バフィレ、あじ開きなど長崎県内で漁獲・製造された商品を販売しました。例年、販売商品の中心である力エリ

煮干や塩蔵わかめは今年も好評で、正月を控えた時期であったことから、出汁用の背黒煮干や焼きあご、小羽煮干も田作り用として多くご購入いただき、3日間ではほぼ全て売り切れるほど大盛況でした。

近年、出汁パックや出汁入り製品の普及により、一般家庭における乾物製品の需要は減少傾向にありますが、今回の振興祭は、長崎県民のみならず観光で来られた方々に対して、長崎県産水産物をアピールする良い機会になったと思います。振興祭は毎年開催される恒例イベントになっており、開催期間中にお近くへお越しの際は、ぜひ会場へお立ち寄りください。



本会ブースで販売している様子

# 2025年度漁協系統功労者表彰受章者決定

総務指導部 指導課



**竹下 博徳 氏**  
JF橋湾東部  
中型まき網漁業

〔漁業振興功績者表彰〕



**井上 幸宣 氏**  
JF橋湾東部  
代表理事組合長

〔漁協運動功労者表彰〕

さる9月10日、JF全漁連（坂本雅信会長）は、第40回漁協運動功労者32名、及び第8回漁業振興功績者28名を発表しました。表彰式および祝賀会は、11月19日に如水会館（東京）において開催され、本県から左記の方々が受章されましたのでご紹介いたします。

心よりお喜び申し上げますとともに、今後益々の「健康と」活躍を祈念いたします。

# 令和7年度 第28回全国青年漁業者交流会長崎県大会及び第42回ソフトボール大会を開催

長崎県漁協青壮年部連合会



吉田部長（中尾次長代読）による祝辞



高平会長（高柳参事代読）による挨拶

さる12月4日、長崎県漁協会館にて第28回全国青年漁業者交流会長崎県大会を開催し、県下漁協青壮年部員のほか、行政や系統団体等より関係者約70名が参加しました。また翌日の5日には三菱重工業長崎造船所スポーツセンター野球場にて、会員相互の親睦を深めることを目的としたソフトボール大会を開催し、県下漁協青壮年部より4チームが参加しました。

〔第28回全国青年漁業者交流会長崎県大会〕

本大会は、県下における漁村青壮年部の漁業者が研究実践してきた水産業に関する技術、経営ならびに地域活動等の成果を発表し、相互間の知識体験の交流を通じて活動意欲の向上を図り、沿岸漁業の振興に寄与することを目的に長崎県漁連と共催で開催しています。

開会にあたり、主催者を代表して長崎県漁連高平会長（代読：高柳参事）による挨拶、続いて県水産部吉田部長（代読：中尾次長）より祝辞が述べられた後、発表に入りました。

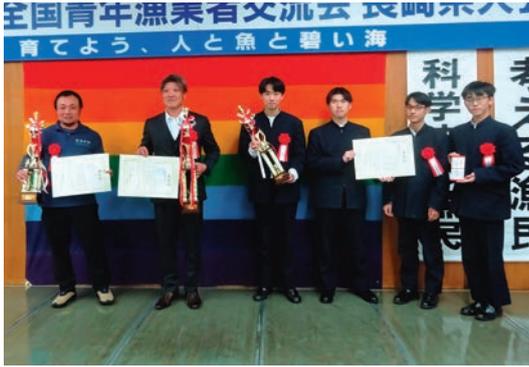
今年度は浜の活動を担う2団体と長崎県立長崎鶴洋高等学校の生徒により、各発表者のテーマに沿って、日頃の研究成果や今後の課題等を発表しました。審査員6名による審査を行い、左記の通りとなりました。

〔審査結果〕  
● 最優秀賞

対馬地区漁業士会

『中庭水産有限公司における担い手確保と島内流通の取組』

中庭 源 氏



表彰式の様子

●特別優良賞

長崎県立長崎鶴洋高等学校

『ドローンを用いた海難救助の事例』

大田 阜晴 氏  
磯本 恒太 氏  
竹下 睦基 氏  
西山 瑛太 氏  
牟田 伝 氏

●優秀賞

佐世保市相浦漁業協同組合青年部  
高島支部

『令和の漁師の島おこし』  
『SLOW ISLAND 高島』  
『小さな島の大きな一歩』

江口 一正 氏

【第42回ソフトボール大会】

当日は、天気に恵まれた中、第42回長崎県漁青連ソフトボール大会を開催し、県下漁協青（壮）年部より4チーム、総勢約50名が参加しました。



講演の様子

審査員による審査会が行われている間、発表会場では古野電気株式会社営業 下田 建祐氏、仲村涼氏による「データで切り開く明るい漁業」と題した講演が行われました。

開会式では稲田副会長より、「一気に寒くなってきましたが、怪我をしないように楽しくプレーしてほしい」との挨拶があった後、新松浦漁協青年部所属の伊積 幸則氏より選手宣誓が行われ、試合へと入りました。

4チームによる総当たり戦で試合を行い、バッティングに苦戦する人や見事なスライディングキャッチをした人などが見られ、元気はつらつとしたプレーで盛り上がりました。

決勝戦は予選を勝ち上がった佐世保市相浦漁協青年部と針尾漁協青年部が優勝しました。順位については左記の通りとなりました。

- 優勝・・・佐世保市相浦漁協青年部
- 準優勝・・・針尾漁協青年部
- 3位・・・新松浦漁協青年部
- 4位・・・県南二区合同チーム

ソフトボール大会は2年に1回、会員相互の親睦を深めるため開催しています。各漁協青壮年部の皆様、次回の第43回大会に参加して一緒に汗を流しませんか。



優勝した佐世保市相浦漁協青年部



試合の様子

# 第3回長崎市PTAスマイルみらいふえすた2025が開催

長崎県漁協青壮年部連合会

さる11月30日、長崎市民会館および長崎市役所にて長崎市PTA主催の「長崎市PTAスマイルみらいふえすた」が開催されました。

本フェスタは、子供たちが地域の中で多くの人と出会い、学び、未来を描いていくための「体験と交流の場」をコンセプトに実施されたもので、「おしごと体験」をはじめ、射的やどじょうのつかみ取りといったおまつりコーナー、長崎大学吹奏楽部によるステージ演奏など、多彩なブースが盛り込まれ、会場には多くの家族連れが来場し、終日賑わいを見せていました。

本会が出展した「おしごと体験コーナー」では、子供たちが普段触れることのない「おしごと」の世界を体験してもらったため、様々な企業が出展し、本会は漁師のおしごと体験として「煮干の選別」と「ロープワーク体験」を行いました。



煮干の選別の様子



ロープワーク体験の様子

煮干の選別体験では、漁獲した魚を仕分ける作業をイメージし、10種類の魚が載った用紙に沿って煮干を探し出す体験であり、参加した子供たちが一生懸命に魚を見つけようとする姿はとても印象的でした。また、ロープワーク体験では、漁師が実際に使用している結び方や、簡単に解けにくい結び方など用途に応じた様々なロープワークを学んでもらいました。そして、最後に体験した記念として、本会役員が編み込んだ特製ストラップをプレゼントすると、子供たちは満面の笑みで受け取っていました。

本協議会としては、日常生活では体験することのできない漁師の仕事を通じて、水産業に興味を持つ子供たちが一人でも増えるよう、今後も様々なイベントへ参加し、活動を続けて参ります。

## 募金ありがとうございます

### (公財) 漁船海難遺児育英会

(公財) 漁船海難遺児育英会は、漁船の海難事故(転覆・衝突等)や海中転落等の事故により、親を亡くされた遺児の経済的・精神的援助を目的に設立され、幼児から小中高生・大学生に学資事業を行っています。

しかし、教育費の高騰により資金的にはまだ十分とはいえないので、今後とも皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

12月には次の方々からご寄付をいただきましたので、ここに厚くお礼申し上げますとともに、紙上にお名前を掲載させていただきます。(敬称略)

#### 【団体】

- ▼長崎県信用漁業協同組合連合会職員組合
- ▼長崎県漁業共済組合
- ▼日本漁船保険組合長崎県支所
- ▼全国共済水産業協同組合連合会長崎県事務所
- ▼生月漁協
- ▼長崎県漁業協同組合連合会

## 有明海諫早湾における垂下式 マガキ養殖の食害対策について

長崎県総合水産試験場

種苗量産技術開発センター 介藻類科

### はじめに

養殖マガキにおいて、夏から秋にかけて発生するへい死は全国的な課題となっており、その発生状況によって毎年の生産量は大きく変化します。特に、令和7年の夏から秋に瀬戸内海で発生した大量へい死は、記憶に新しいことと思います。

一方で、こうした高水温期のへい死とは別に、近年、西日本を中心とした海域で、春から初夏



図1 各試験区の様子  
左：ラッセル網区 右：束ね区

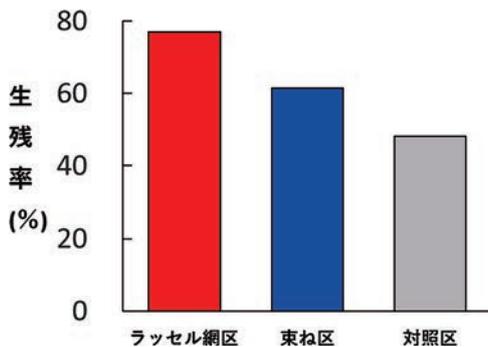


図2 試験開始16日目の生残率  
※各区有意差あり

### 食害対策試験

の魚類による食害と考えられる稚貝の大量減耗が大きな問題となっています。長崎県でも同様の現象が有明海や大村湾など県内各地で発生しており、その対策が求められています。そこで今回、有明海諫早湾において養殖マガキの食害対策試験を行いましたので、その結果を紹介します。

諫早湾では、マガキ稚貝が20個前後付着したコレクター（ホタテガイの殻）を一枚ずつ等間隔で養殖ロープに十数枚挟み込んで1連として4〜5月に筏に垂下して養殖を開始します。

試験は、図1に示すように、1連を丸ごとラッセル網で覆う「ラッセル網区」と、福岡県で用いられている、1連を丸く束ねて球状にした「束



図3 マガキ稚貝の食害痕がみられるコレクター  
(一方の殻だけが残り白く見える)

ね区」の2区を設け、令和7年5月27日に設置し、設置16日後の6月11日に生残状況を調べました。試験結果を図2に示します。

生残率（生残稚貝数／開始時の稚貝数×100）は、ラッセル区が77%と最も高く、次いで束ね区が61%、通常の養殖マガキ（対照区）が48%となりました（各区有意差あり）。この時、束ね区と対照区では図3に示すように食害痕とされる稚貝の上面の殻がはぎ取られ、下面の殻だけがコレクターに付着している状態が観察されました。

このことからラッセル網区では1連の全てのカキが食害から守られたのに対し、束ね区では外面のカキが食害を受けたことで、生残率の差が生じたと考えられましたが、両試験区ともに食害による初期減耗を軽減する効果が認められました。

マガキの成育状況

食害の発生は5〜6月に多くなり、マガキの大きさが4cmを超える7〜8月にかけて収束することが福岡県から報告されています。

そこで今回、試験区の平均殻高が4cmを達した7月8日に両試験区を通常の1連の状態に戻し、その後の食害の発生状況及びマガキの生育状況を10月30日まで調査しました。なお、7月8日の試験開始14日後に確認したところ新たな食害痕は確認されませんでした。

試験結果を表1に示します。

試験開始から約3ヶ月後の10月30日の1個体あたりの殻高、重量、軟体部重量は、ラッセル網区と束ね区で大差はなく、防除による成育不良はみられませんでした。

1連あたり（コレクター数14枚）のカキの個数は、ラッセル網区が274個と最も高く、次いで、束ね区が202個、対照区が183個となり、総重量は、ラッセル網区が7.4kgと対照区よりも2.4kg上回りました。ラッセル網区と対照区では個数、総重量、生残率で有意差が認められました。

これらの結果から、網を被せる方法は高い食害防止効果や生産性の向上が期待できる一方で、網の着脱の手間や、海況に合わせた最適な作業時期の検討など新たな課題が出てきました。今後は、養殖業者が利用しやすい技術へと発展させていきます。

表1 マガキの成育結果

	7月8日		10月30日				
	殻高 (cm)	殻高 (cm)	重量 (g)	軟体部重量 (g)	1連あたりの個数 (個/連)	1連あたりの総重量 (kg/連)	生残率 (%)
ラッセル網区	4.2	7.3	30.8	6.5	274 <sup>※</sup>	7.4 <sup>※</sup>	35 <sup>※</sup>
束ね区	4.1	7.2	31.8 <sup>※</sup>	5.5	202	5.8	26
対照区	3.3	6.7	26.0	4.9	183	5.0	24

※ 対照区と有意差あり

7月8日：試験区を通常の1連に戻した日  
10月30日：試験終了時点

食害種の特定

次に、諫早湾における食害魚を特定するため、4〜6月の間、カキの養殖筏にタイムラプスカメラを設置し、連続撮影を実施しました。

映像には、クロダイ、ギマ（図4）、ボラの3種が確認され、特にクロダイとギマが頻繁に出現し、カキを突く様子が確認されました。これまで、マガキの食害種として、クロダイ、イ

シダイ、コモソフグ、ウマヅラハギが他県から報告されています。

ギマは新たな食害種になるかもしれない。

今回は出現

状況のみの確認

でしたが、

今後は、養殖

場周辺での漁

獲調査や消化

管内容物調査等

により原因種を

特定し、その生

態的特性に基づ

く食害対策を

検討します。

総合水産試験場

では現在、カキ

養殖における

食害対策に加え

、県内の種苗生

産機関等と協力

し、近年の気候

変動に対応した

高水温耐性系統

の開発や付着生物

おわりに

今後現場の課題解決に向け、関係各所と密に協力しながら、養殖業者が活用しやすい技術を開発し、カキ養殖業の経営安定につなげていきます。

（担当 土内 隼人）



図4 ギマ

# 漁船海難月報

令和7年12月号 第七管区海上保安本部  
第265号 交通部安全対策課 発行

BACKNUMBER



令和7年11月発生  
七管内漁船海難 3隻

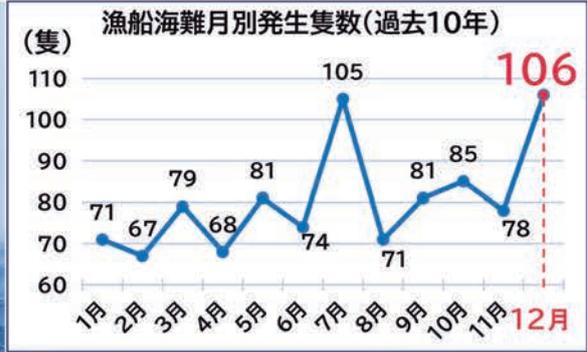
令和7年11月末現在 累計 56隻  
漁船海難発生隻数は前年に比べ ±0隻

漁船海難隻数 (速報値)	県別内訳	
	11月	令和7年累計
衝突 ★ 1	山口県 0	10(7)
運航不能 (推進器障害) ■ 1	福岡県 1	12(6)
	佐賀県 1	3(4)
運航不能 (有人漂流) ◆ 1	長崎県 1	31(30)
	大分県 0	0(9)
合計: 3隻 死者・行方不明者: 1名	合計 3隻	56隻(56隻) ( )は昨年同月



累計死者・行方不明者数 3名(令和7年11月末日現在)

過去10年統計  
**12月**は月別で  
**最多**



12月は、漁船の事故が他の月より**多く発生**する傾向があります。  
特に「**衝突・乗揚**」が多発していますので、十分に注意しましょう。

## ①見張りの徹底

衝突・乗揚事故の原因の約6割は「**見張り不十分**」によるものです。  
魚群探知機の使用時や投網作業時等、作業に没頭して見張りが疎かになりがちです。  
常時適切な見張りを励行し、衝突・乗揚事故を防ぎましょう。



## ②居眠りに注意

居眠り運航の多くは、操業後の帰港中や自動操舵使用中に発生しています。  
もし、**眠気を感じた時は、「窓を開けて換気」「体を動かす」**などの対策を講じる他、  
普段から十分睡眠をとり、睡眠不足が生じないように規則正しい生活習慣を心掛けましょう。



## ③自動操舵使用時は注意

自動操舵装置は、操船の負担を軽減し見張りに専念するためのもので、他船や障害物を避ける機能はありません。  
自動操舵中、他の作業に没頭すれば、見張りが疎かになり、衝突・乗揚事故に繋がります。  
**自動操舵使用中であっても、常時適切な見張りを行いましょう。**

# インターネットショッピングサイト

長崎県の安全・安心で新鮮な鮮魚・加工品を  
インターネットを通じてダイレクトに食卓へお届けします!!

美味しいものはここにある

## 長崎漁連

ウェブショッピング JF長崎漁連

<https://www.jf-nagasaki.com>

長崎自慢の海産物を  
ネットでお取り寄せ!

JF 長崎県漁業協同組合連合会

小型漁船で操業する漁業者のみならずへ

## 衝突事故防止のための4つのポイント

**機器等に集中しない**

各種機器等を見続けるのは危険!

**作業中も見張り**

1人でも2人でも見張りを確実に!

**他の船に注意**

他の船が避けるだろうは危険!

**AIS・スマホアプリの活用**

AISやスマホアプリで相手船の認識が容易に!

注) スマホアプリには機能がありませんので、必要な機能が備わっているアプリを選択し、アプリの稼働を確認する。常に安全確保を心がけましょう。

1人1人が安全対策を自分事として捉え、航行中や作業中も、常時、周囲の見張りをお願いします

**漁船の安全操業に関する情報**

AIS(船舶自動識別装置)の普及促進に関する情報を紹介しています!

お問い合わせ先  
水産庁 漁政部企画課  
TEL: 03-3592-0731

**スマホ用海の安全情報**

現在地周辺の海の安全情報が、表示されます!

お問い合わせ先  
海上保安庁 交通部安全対策課  
TEL: 03-3591-6361

海の「事件・事故」は

# 118番

「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です

あっぱれ

信頼を実績で築く  
**船舶塗料の専門店**  
CMP 中国塗料株式会社 web 山二塗料です

外壁塗装+屋根塗装なら山二におまかせください!!

山二塗料産業株式会社

総機部 TEL: 0956-31-8020  
長崎店 TEL: 095-837-8020  
鹿児島店 TEL: 099-260-0600

まごころで大きく包む

パッケージ資材全般・包装機械

## 株式会社 丸本

包むちゃん

本社・営業部 / 〒851-0134 長崎市田中町593-1  
TEL: 095-837-8205 FAX: 095-837-8208  
工場・営業所 / 福岡工場・熊本工場・福岡営業所

定置網周辺の潮流・水温リアルタイム計測

主な仕様

- フロート径: φ100cm
- フロート材料: 厚膜ウレタンコーティング樹脂製
- 筐体材質: 耐食アルミニウム合金
- 全備質量: 約52kg(蓄電池含む)
- 適用電源: 鉛蓄電池(12V80AH)
- 適合機器: 携帯電話(ドコモ、ソフトバンク、MVNO)
- 適応機器: 潮表(流向流速)、水温計測センサー

株式会社ゼニライトプライ

九州営業所 TEL: 092-674-0001 FAX: 092-674-0002

日付	時刻	電圧 (V)	電流 (A)	水温 (°C)	流速 (cm/sec)	流向 (°)	電圧 (V)	電流 (A)
2023-07-09	08:40:30	6.00	24.1	20.23	15.20	20.86	11.14	0.30
2023-07-09	08:50:33	6.00	24.1	20.49	11.92	27.24	11.14	0.21
2023-07-09	09:20:33	6.00	24.4	20.48	11.95	26.53	11.13	0.21

潮流・水温観測用プライ

一般作業用長靴

### ハイビジョン (23.0cm~28.0cm)

防水・防油・防泥

ハイビジョン

シール201

SHIBATA

シバタ工業株式会社

長崎出張所 〒852-8124 長崎市津町3-40 平山ビル1F  
TEL: 095-844-1210

FURUNO

定置網モニタリングシステム

## 漁視ネット

型式 FMS-100

古野電気株式会社

長崎営業所 095-861-3261 福岡営業所 092-711-1777 佐世保営業所 0956-48-4440

Printing & Planning

# SEIBUNSHA

(有)正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号  
TEL (095) 826-0211  
FAX (095) 825-0538  
URL <https://seibunsha.jp>

貝殻  
リサイクル魚礁



# JFシェルナース



魚礁  
(6.0型)



イサキ(対馬市)



ヒラマサ(西海市)



メバル(佐世保市)



イセエビ(新上五島町)



マダイ(対馬市)



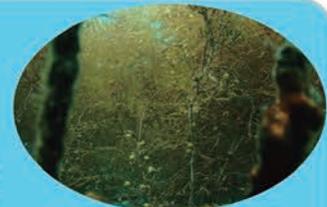
マアジ(南島原市)

保護礁  
(フラス1.0型)



漁業者による  
種苗の準備

取り付けた海藻は  
順調に  
生長しています!



設置10年以上経過  
ホンダワラ類(長崎市)



2カ月後(長崎市)



1年2カ月後(対馬市)



1年5カ月後(平戸市)

漁師の考えた小型ブロック

貝藻くん



60cm×55cm×45cm、重量60kg

長崎県内で1,156基(全国約12,573基)  
ご採用いただいております(2013~2024.4.1現在)



クロメ生育状況



下の隙間に隠れるクエ

お問合せ先 JF長崎漁連 購販部 購買課 TEL 095-829-2420

開発・製造 海洋建設株式会社



**JF**  
JFグループ

着けよう、  
あなたが家族のことを  
思うなら。

めざせ！  
海難事故

自分の命は自分で守る！  
わずらわしさと窮屈さから解放！  
ベスト感覚で着れる  
ファッションなライフジャケット  
常時着用型救命胴衣(自動膨張式)

膨張時

反射リフレクター  
エア-吹入補充バルブ  
ホイッスル  
炭酸ガスボンベ  
手動レバー

お問い合わせは、長崎県漁連 購買課まで TEL 095-829-2418~2420

# 「ギョレンオイル大漁」 発売から 50 年



「ギョレンオイル大漁」は、漁船で使用される機械とその使用条件を考慮して定めた規格に合わせて開発した、漁船のためのエンジンオイルです。

ギョレンオイル  
**大漁**  
シリーズ

## 大漁スーパー

中・小型漁船の高速エンジン用 (SAE30、40、15W-40)

## 大漁ロイヤル

大・中型漁船の中・低速エンジンオイル (SAE30、40)

## 大漁LL

大・中型漁船の長期航海用 (30、40)  
小型高出力エンジン用のロングライフオイル (15W-40)

## 大漁ハイドロスーパー

耐荷重性に優れた漁船用油圧作動油 (ISO VG32、46)

## 大漁ベストクール

陸上冷凍装置から遠洋漁業の超低温冷凍装置まで (ISO VG32、46)

漁協は、JFグループへ。

JFブランド商品

# “ギョレンオイル大漁シリーズ”

漁船用エンジンのための最高級オイル。

〈エンジンオイル〉

- 大漁スーパー
- 大漁ロイヤル
- 大漁LL

〈油圧作動オイル〉

- 大漁ハイドロスーパー

〈冷凍機オイル〉

- 大漁ベストクール



海には、JFマークの商品を。



JFグループ

問い合わせ先  
問い合わせ先

JF全漁連 購買事業部 石油第2課  
JF長崎漁連 購買課

TEL 03-6222-1323  
TEL 095-829-2419



発行/長崎県漁業協同組合連合会

〒850-8686 長崎市五島町2番27号 TEL095-829-2413  
年間購読料 2,000円 (会員の購読料は会費に含む)

長崎県漁連 WEBサイトアドレス  
<http://www.nsgyoren.jf-net.ne.jp/>

